

落ち葉のお面でへんしんしよう

活動のねらい

- ・ 野外の雑木林を利用し、いろいろな落ち葉をさがして遊ぶことを通して、自然に対して興味・関心をもたせる。
- ・ 落ち葉にはいろいろな色と形があり、それを使って遊べることに気づかせる。

活動時期

10月～12月

活動場所

落葉している林

活動時

40分

必要な道具

お面台紙, 落ち葉, セロハンテープ, 輪ゴム, 紙芝居
(森は楽しい)

活動の流れ

活 動	留 意 点
1 雑木林に行って全体の様子を知る。 ・ 林の中にはたくさんの木の葉がある。	○雑木林を見て、落ち葉がたくさんあることに気づかせる。
2 お面作りの説明を聞く。 ・ 雑木林にはたくさんの木の葉にはいろいろな形がある。	○お面はあらかじめ目をくりぬいておき、かぶれるようにしておく。 ○作業はテーブルの上で行わせる。
3 顔のいろいろな部分ににている落ち葉を集める。	○落ち葉には、いろいろな色や形があることに気づかせる。 ・ 園児と一緒に回りながら落ち葉をさがす。 [紹介したい落ち葉]【例】 ・ 少し大きめのアオギリの葉 ・ 細長く大きいトチノキの葉 ・ 針のようなマツの葉 ・ 長丸いサクラの葉 など ○大きな葉があれば、それをお面の顔にさせてもよい。
4 落ち葉を並べて顔をつくってみよう。	○さまざまな用具を使用しながら、オリジナルお面を作成していく。
5 お面で遊ぼう。 ・ できたお面をかぶって友だちと森で遊ぼう。	○自分のお面ばかりでなく、友だちのお面のできばえにも目を向ける。

評価の観点

- ・ ひとりひとりが楽しく活動し、落ち葉の色や形に対する興味・関心が高まったか。